

529ヘクタールの水源の森からのホットな情報発信

第83号 2010年 4月

やどりき水源林ニュース

発行(財) かながわトラストみどり財団 編集 NPO 法人かながわ森林インストラクターの会
 220-0073 横浜市西区岡野2-12-20 神奈川県横浜西合同庁舎内
 045-412-2255 URL: <http://www.ktm.or.jp> E-mail: midori@ktm.or.jp

定例観察会のお知らせ(費用等負担はありません)

毎週土曜 日曜の午前10時と午後1時から「NPO 法人かながわ森林インストラクターの会」会員が水源林をご案内します。やどりき水源林ゲート前までお越しください。なお、冬季(12月~2月)は安全確保のため案内を休止します。

水温む 春の瀬音の水源林



今年のやどりき水源林は比較的降雪が多く、春の訪れも例年に比べ遅かったようですが、4月に入り一日と春めいてきました。寄大橋付近の寄沢では、岸辺に植えられたサクラが平地の一週間遅れで開花しました。寄沢では卵からオタマジャクシがかえり、水生生物も活動を始めました。ミソサザイ、シジュウカラ、ウグイスなどなど、ゴウゴウと流れる水の音と、野鳥の鳴き声のハーモニーがとても心地よいです。春の花も次々と開花を始めました。



林道コース終点付近の寄沢は、数日來の降雨を集め、勢いが増していました。



B コース途中で見つけたアズマヒキガエルの卵



2010/2/26撮影

ヒゲナガカワトビケラの幼虫は、小石を集めて糸で編んで巣を作ります。2月に撮影した時は、巣の中で小さく丸まって越冬していました。



ヤマアカガエルのオタマジャクシ(寄沢の水たまりで)



4月になると巣から抜け出し動き回っていました。

やどりき水源林の4月の花々



キブシ：早春の山林をカンザシ状に垂れ下がった花で飾ります。



アブラチャン：葉に先駆けて黄緑色の小さい花を散形状につけます。



クロモジ：もうすぐ葉の付け根に淡黄緑色の小さな花が開きます。



マメザクラ：樹高が低く、下向きに花を付ける特徴があります。



ヒサカキ(雄株)：枝の下側に短くぶら下がるように多数の花が咲きます。



ミヤマシキミ(雄株)：枝先に白色の花を多数つけます。



ヤシャブシ：雌雄異花で、雄花序は先端に雌花序は下につきます。



オオバヤシャブシ：ヤシャブシと異なり雌花序は雄花序の上につきます。



ミツバツツジ：日当たりのよいところから花が開き始めました。

やどりき案内人研修会実施

かながわ森林インストラクターの会会員のうち60数名が“やどりき森の案内人”に登録し、水源林の見本林及び成長の森の観察等に訪れた方、ボランティア団体、学校の児童生徒に対し、定期的に水源林の案内を行っています。この案内活動のレベルアップ、認識の共有化を目的に“案内人研修会”を3回に分けて実施しました。案内コースの林道、A・Bコース、成長の森を巡回し、認識を新たにしました。写真は巡回前のミーティングの様子です。



4月のトビックス

やどりき水源林では時々ニホンカモシカを目撃することがあります。写真は4月4日に目撃した個体で、体は小ぶりですが、立派な角を持っています。



5月の水源林

5月の水源林は各種ウツギの花盛りです。ヒメウツギ、マルバウツギ、ウツギの順で次々と白い花を咲かせます。

